

研究に関するご協力のお願い

福島県立医科大学麻酔科学講座では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願ひいたします。

2023年 11月

福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 井上聰己

■ 研究課題名

献体遺体を用いて腸骨筋膜下に投与した薬液の広がりを調べる解剖学的研究

■ 研究期間

2023年12月～2027年11月

■ 研究の目的・意義

整形外科の手術などで下肢の痛みを和らげる目的として、「大腿神経ブロック」という手技が行われています。どのように行うかというと、超音波装置を用いて大腿神経という足の知覚を支配する神経を確認し、神経の周囲に局所麻酔薬を投与します。

近年、大腿神経のすぐ近くではなく、「腸骨筋膜下」といって、神経からすこし離れた部位に局所麻酔薬を投与する方法を行うことが増えてきています。神経のすぐ近くに注射するより、神経障害の危険が低く、安全と考えられているからです。今までの研究で、薬液が大腿神経に広がることは確認されているのですが、薬液が大腿神経のどの部位に広がるのかは、詳しく報告されていません。

本研究では、献体遺体を用いて、腸骨筋膜下に投与した薬液が大腿神経のどの部位に広がるのかを明らかにすることを目的としています。従来の大腿神経ブロックの方法と比較することで、どちらの方法が術後の痛みを和らげるのに適しているのか、筋力低下が少ないのかを解明できれば、整形外科で手術をした患者さんの鎮痛の質を改善し、安全性を向上させることができる可能性があります。

■ 研究対象となる方

福島県立医科大学の志らぎく会に献体をしてくださった方が対象となります。

■ 研究の方法

献体の腸骨筋膜下に色素を投与した後に解剖を行い、大腿神経のどの部位に薬液が広がるのかを調査します。

■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2023年12月1日

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学麻酔科学講座であり、研究責任者は麻酔科学講座 井上聰己です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学麻酔科学講座で利用し解析を行います。

■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

該当なし

■ この研究に関する問い合わせ

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者の代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

問い合わせ先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学医学部麻酔科学講座 担当：大石理江子

電話：024-547-1342 FAX：024-548-0828

e-mail：rieponko@fmu.ac.jp